



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小島 徹

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー

(氏名) 宮崎 毅

TEL 03-6895-6260

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,063	12.1	1,722	—	2,105	—	2,197	—
25年3月期第1四半期	33,964	4.1	△345	—	△1,297	—	△1,586	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 4,473百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △1,476百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.53	—
25年3月期第1四半期	△6.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	199,244	57,055	27.6
25年3月期	181,682	52,633	27.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 54,967百万円 25年3月期 50,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,000	7.7	2,400	833.9	2,600	—	4,000	—	17.34
通期	153,000	16.5	5,500	368.9	5,000	97.7	6,000	—	26.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	230,764,400 株	25年3月期	230,764,400 株
26年3月期1Q	87,522 株	25年3月期	86,682 株
26年3月期1Q	230,677,298 株	25年3月期1Q	230,678,280 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社の約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、本日付で「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので、併せてご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

外航海運事業は、ドライバルクにつきましては、依然として強い船腹過剰感が上値を抑え市況は全船型において低水準で推移しました。しかしながら、大量竣工が今年から減少に転じ、パナマックス型撒積船を除く全ての船型において新造船供給圧力が緩和され始めたことを受け好転した市場心理や、雨季が明けて荷動きが活発化したブラジル積み鉄鉱石輸送が追い風となり、ケープ型撒積船主要4航路平均用船料は6月に今期初めて日額1万ドル台まで回復しました。

原油タンカーにつきましても、新造船大量竣工に伴う供給圧力、老齢船解撤の鈍化といった船腹需給の緩和に加え、中国の原油輸入量が昨年度に比べ減少したことにより、市況は低迷しました。しかしながら、5月以降は同国の原油輸入量が増加に転じ、それに伴いVLC C市況も低水準ながらも回復の兆しを見せました。このような状況の下、為替相場の円高是正もあり、外航海運事業の業績は前年同期比で増収増益となりました。

内航海運事業につきましては、鉄鋼関連貨物やセメント関連貨物の荷動きが堅調に推移した事もあり、業績は前年同期比で増収増益となりました。

燃料油価格は、依然高水準ではあるものの軟化基調で推移し、当社の当第1四半期連結累計期間の平均購入価格はトン当たり約617ドル（内外地平均C重油）となり、前年同期比では約99ドル下落しました。また対米ドル円相場は期中平均で99円と、期初の見込み90円に比較して9円の円安となり、前年同期比では17円33銭の円安となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は380億63百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は17億22百万円（前年同期は3億45百万円の営業損失）、経常利益は21億5百万円（前年同期は12億97百万円の経常損失）、四半期純利益は21億97百万円（前年同期は15億86百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、175億62百万円増加の1,992億44百万円となりました。このうち流動資産はたな卸資産やその他流動資産に含まれるデリバティブ債権等の増加により、14億8百万円増加しました。固定資産は主として船舶の増加により、161億54百万円の増加となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、131億40百万円増加の1,421億89百万円となりました。このうち流動負債は支払手形及び営業未払金等の増加と未払金等の減少の差引により、3億77百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の増加により、127億64百万円増加しました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと、およびその他の包括利益累計額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ44億22百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期連結累計期間				通期			
	期初予想	今回予想	増減額	増減率	期初予想	今回予想	増減額	増減率
売上高	72,000	72,000	0	-	148,000	153,000	5,000	3.4%
営業利益	700	2,400	1,700	242.9%	3,700	5,500	1,800	48.6%
経常利益	100	2,600	2,500	2,500.0%	2,300	5,000	2,700	117.4%
当期純利益	1,400	4,000	2,600	185.7%	3,500	6,000	2,500	71.4%

※期初予想(平成25年4月30日)及び今回予想における対米ドル円換算率及び燃料油価格(内地C重油)の前提は以下の通りです。

	期初予想	今回予想(第2・3・4半期前提)
対米ドル円換算率	US\$=90円	US\$=100円
燃料油価格(内地C重油)	US\$670/MT	US\$670/MT

第2四半期以降のドライバルク運賃市況につきましては、一時的な回復局面が船型によって見られるものの、全体としては依然として強い船腹過剰感に覆われており、今後も暫くは市況が低迷することが見込まれます。その一方、昨年末からの修正された円相場は今後も安定的に推移するものと見込まれます。

上述の事業環境見通しの下、平成25年4月30日付けで公表した平成26年3月期第2四半期連結累計期間及び平成26年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正いたします。第2四半期以降の前提条件は、対ドル円換算率を100円(期初前提比10円安)へと見直し、燃料油価格は期初前提と変わらず内地C重油価格トン当たり670ドルのままとしています。

なお第3・4四半期につきましては、為替前提の見直しによる損益改善が見込まれる一方、運賃市況は依然として低水準が見込まれることを総合的に勘案し、期初時点における損益見通しから大きく変わらない見通しです。

詳細につきましては本日公表の「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(耐用年数の変更)

当社の連結子会社であるNS UNITED TANKER PTE. LTD. は、所有船舶の定期検査において使用状況がより明確になったことを契機に、平成25年度以降のケミカルタンカー事業計画を見直したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より所有船舶の耐用年数を従来の13年から18年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ87百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,432	18,321
受取手形及び営業未収金	13,991	14,685
たな卸資産	7,423	8,558
前払費用	2,111	3,053
繰延税金資産	2,939	2,497
その他流動資産	3,055	4,251
貸倒引当金	△22	△27
流動資産合計	49,930	51,338
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	95,539	112,438
建物（純額）	592	584
土地	796	796
建設仮勘定	26,936	26,301
その他有形固定資産（純額）	366	197
有形固定資産合計	124,229	140,316
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,620	4,846
繰延税金資産	1,500	1,351
その他長期資産	1,124	1,129
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,243	7,324
固定資産合計	131,752	147,906
資産合計	181,682	199,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,058	8,932
短期借入金	14,558	16,046
未払金	6,758	4,677
未払費用	286	367
未払法人税等	366	86
繰延税金負債	546	733
前受金	1,115	1,402
賞与引当金	367	91
役員賞与引当金	37	7
デリバティブ債務	6,686	5,048
その他流動負債	1,516	2,282
流動負債合計	39,293	39,670
固定負債		
長期借入金	85,103	97,950
退職給付引当金	1,096	1,087
特別修繕引当金	2,181	2,052
繰延税金負債	1,296	1,356
その他固定負債	81	75
固定負債合計	89,756	102,520
負債合計	129,049	142,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	13,429	13,429
利益剰余金	28,943	31,140
自己株式	△26	△26
株主資本合計	52,646	54,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276	425
繰延ヘッジ損益	△1,266	430
為替換算調整勘定	△1,074	△731
その他の包括利益累計額合計	△2,064	124
少数株主持分	2,050	2,088
純資産合計	52,633	57,055
負債純資産合計	181,682	199,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	33,964	38,063
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	32,779	34,773
売上総利益	1,185	3,290
一般管理費	1,530	1,568
営業利益又は営業損失(△)	△345	1,722
営業外収益		
受取利息	44	20
受取配当金	42	56
持分法による投資利益	3	—
為替差益	—	638
その他営業外収益	33	30
営業外収益合計	123	744
営業外費用		
支払利息	339	347
持分法による投資損失	—	3
為替差損	724	—
その他営業外費用	13	11
営業外費用合計	1,075	360
経常利益又は経常損失(△)	△1,297	2,105
特別利益		
固定資産売却益	242	283
特別利益合計	242	283
特別損失		
投資有価証券評価損	1,442	—
特別損失合計	1,442	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,497	2,388
法人税等	△830	112
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,668	2,276
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△82	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,586	2,197

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,668	2,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	568	152
繰延ヘッジ損益	△1,209	1,702
為替換算調整勘定	788	287
持分法適用会社に対する持分相当額	45	56
その他の包括利益合計	192	2,197
四半期包括利益	△1,476	4,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,377	4,385
少数株主に係る四半期包括利益	△99	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,449	5,286	33,735	230	33,964	—	33,964
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	117	119	△119	—
計	28,449	5,288	33,736	347	34,083	△119	33,964
セグメント利益 又は損失(△)	△241	△126	△368	18	△350	5	△345

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	32,403	5,563	37,966	97	38,063	—	38,063
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	0	0	102	103	△103	—
計	32,403	5,564	37,966	199	38,166	△103	38,063
セグメント利益 又は損失(△)	1,399	327	1,727	△6	1,720	1	1,722

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。